

令和5年（2023年）

第7回大阪狭山市教育委員会
定例会議議事録

令和5年（2023年）7月27日 開催

大阪狭山市教育委員会

第7回大阪狭山市教育委員会定例会議議事録

令和5年(2023年)7月27日(木)

午前9時30分 開議

市役所本庁舎3階 委員会室

出席委員(5名)

竹谷 好弘	教育長
山田 順久	教育長職務代理人
田川 宜子	委員
河合 洋次	委員
井上 寿美	委員

出席事務局の職員

山田 裕洋	教育部長
寺下 憲志	教育監
山本 泰士	こども政策部長
浜口 亮	教育部次長兼教育総務グループ課長
塚本 浩二	こども政策部次長兼保育・教育グループ課長
酒谷由紀子	教育部副理事
中本 真司	教育部副理事兼学校教育グループ課長
東野 貞信	社会教育グループ課長
森口 健次	歴史文化グループ課長
井上 知久	子育て支援グループ課長
岩間かおり	放課後こども支援グループ課長

書記

安達奈津芽	教育総務グループ主幹
山田 修平	教育総務グループ主任

議事日程

開会

教育長活動報告

議事

日程第 1 議案第12号 令和 6 年度使用小学校教科用図書採択について

日程第 2 議案第13号 大阪狭山市放課後児童会条例施行規則の一部を改正する規則について

閉会

各グループの報告事項

教育部長（山田裕洋）

それでは、定刻になりましたので、教育長、
よろしくお願ひいたします。

教育部長（竹谷好弘）

改めまして、おはようございます。

ただいまから令和5年第7回教育委員会定例
会議を始めさせていただきます。

本日の出席委員数は定足数に達しております
ので、会議は成立しておりますことをご報告い
たします。

議事録の署名委員は、会議規則によりまして、
山田教育長職務代理人、井上委員を指名いたし
ます。

また、本日は12名の傍聴の申込みがございま
したので、承認いたします。

教育長活動報告でございますが、資料の1ペ
ージをお願いします。

主なものをご報告いたします。7月3日、学
校給食理事会、令和5年度の第1回の理事会を
開催いたしました。

それから、7月14日、狭山池総合学術調査委
員会、これは史跡狭山池の追加指定ということ
で池守田中家をテーマにご審議をいただきました。

7月18日、第73回「社会を明るくする運動」
市民集会、講演会のほうに出席をいたしており
ます。

7月21日、2段目、表敬訪問（トランポリン
協会）ということで、インターハイ出場の報告
を受けております。

その他、各種会議に参加、出席をいたしてお
ります。よろしいでしょうか。

それでは、早速ですけれども、議事に移りた
いと思います。

本日の議案でございますが、日程第1、議案
第12号、令和6年度使用小学校教科用図書の採
択についてを議題といたします。

教科用図書の採択に当たりましては、大阪狭
山市立小学校教科用図書選定委員会に対し令和
5年4月21日に諮問し、意見を求めたところで
ございます。

それでは、選定委員長からの説明を求めます。
選定委員長（酒匂雅夫）

それではまず、経過について報告いたします。

今回の教科用図書選定につきましては、13種
目にそれぞれ3名の調査員を任命し、各調査委
員会において十分な研究協議の上、調査研究資
料を作成し、選定委員会へ提出していただきま
した。

選定委員会では、小学校校長会代表、中学校
校長会代表、小学校教頭会代表、保護者代表に
教育委員会事務局を加えた7名によりまして、
4月21日に採択の方針等を確認し、6月19日及
び6月20日の2回にわたって各教科調査委員会
より報告を受けた調査研究資料を基に議論し、
本市の子どもたちにとってより望ましい教科書
を選んでいただくために、資料を作成いたしま
した。

以上が、これまでの経過でございます。

答申させていただきます。

令和5年7月27日。

大阪狭山市教育委員会様。

大阪狭山市立小学校教科用図書選定委員会委
員長、酒匂雅夫。

令和6年度使用小学校教科用図書の採択につ
いて（答申）。

令和6年度使用小学校教科用図書の採択に関
し、国語・書写・社会・地図・算数・理科・生
活・音楽・図画工作・家庭・保健・英語・道徳
の13種目について、別紙資料のとおり答申し
ます。

教育部長（竹谷好弘）

お疲れさまでございました。ありがとうございました。

今、選定委員長より答申をいただきました。私も含めまして委員の皆様にはあらかじめ教科書や答申資料など十分確認をしていただいております。

それでは、随時、選定委員長のほうから教科書ごとに説明をお願いしたいと思います。

初めに、国語の教科書採択に入ります。よろしくをお願いします。

選定委員長（酒匂雅夫）

これより、調査委員会を経て選定委員会でまとめました各種目の教科用図書について、答申資料に沿って報告いたします。

まず、国語について報告いたします。

学習指導要領では、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指しています。このことを踏まえ、各社ともに言語活動を充実させるとともに、就学前からのつなぎや小中の継続性を意識して、動画コンテンツを充実させたりしております。また、人権の取扱いについても、全ての児童にとって使いやすく分かりやすいよう、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色などに配慮されています。

選定項目に沿った各社の特徴は、お配りした資料にあります。例えば東京書籍では、SDGsをはじめ現代的諸課題に関連の深い教材が多くなっております。また、リズムに合わせて手をたたくという読みの指導方法を取り入れており、心と体とで言葉や本を楽しむことができます。

教育出版は、身の回りにある課題に仲間と共に向き合える教材が充実しております。また、表紙が大変鮮やかで、読書をする人が描かれており、学習内容においても、読書タイムラインという1年生からどのような本や作品を読んできたかを振り返るチャートが掲載され、6年間

のつながりを重視した読書活動が提案されています。

光村図書では、伝統的な言語文化題材が充実しており、単元の後ろの読書のすすめが充実しています。また、自ら問いを持ち、自己調整しながら学べるような工夫がされています。

教育長（竹谷好弘）

ただいまご報告がございました。国語については3社でございます。

それでは、各委員からの意見を求めます。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

光村は、点字の学習があったりユニバーサルデザインを多く用いたりするなど、人権にとっても配慮されていると思いました。東京書籍の1年生の教科書は、冒頭が絵本のようになっていて、スタートカリキュラムに配慮されているなというふうに感じております。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私ちょっと漢字のほうで言わせていただくんですけども、漢字でいいますと教育出版が工夫されていると感じました。新しく学んだ漢字については文字を大きくして、とめ、はらい、分かりやすい書式になっています。6年生の上巻と下巻のどちらも表紙をめくってすぐのイラストの詩にメッセージがたくさん載っているのがいいかなと思います。ひろがる帆だとかひろがる言葉とかイラストが、6年生から中学生の出航を重ねていて、そのようないざないがいいなと思いました。

あと、東京書籍もよかったなと思います。特に就学前後のつながりがよくて、上巻見開きのオノマトペから、「あめですよ」の「とんとん

とん」、そして次の単元の「とんとことん」と音でうまくつなげているなと思いました。あと、声の物差しというところがあるんですけども、それもよかったなと思います。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

教育委員（河合洋次）

今、東京書籍の話が出たので、私も東京書籍がいいなと思いました。見通す、取り組む、振り返る、3つのステップで学習の流れが分かりやすいと思いました。あとは、ページをまたいでの大きな写真とか、あとイラストで興味関心を引き出しやすくしているところがいいなと思いました。

教育長職務代理人（山田順久）

私も東書がいいと思いました。子どもたちにとって興味のあるアニメや漫画を題材としたような斬新な教材もあり、子どもたちにとって学び方が分かりやすいというふうに思いました。言語活動を充実させて、豊かな言葉の力と考え方を付けるために様々な工夫がさらにされているなというふうに感じました。

教育長（竹谷好弘）

各委員からそれぞれご意見が出たようでございます。いろいろご意見ございましたけれども、共通して東書を推す意見が多かったようでございますが、国語につきましては東京書籍にしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、国語の教科書は東京書籍を採択することに決定いたします。

続きまして、書写の採択に移ります。

選定委員長、説明をお願いします。

選定委員長（酒匂雅夫）

では、書写について報告いたします。

各社とも、文字を書く基礎となる事項につきまして、発達の段階を考慮した内容になっております。ノートやはがき、手紙、原稿用紙の書き方など、日常生活や学習活動に役立つ活動が取り上げられています。また、全ての児童にとって分かりやすく使いやすいように、フォントや文字の大きさ、配色などが配慮されています。

選定項目に沿った各社の特徴は、お配りした資料にあります。例えば東京書籍では、筆順の決まりについて、上から下へ、左から右へ、両方を組み合わせたもの等、約束を学習することで、児童が漢字の筆順を身につけやすいようになっています。また、5、6年生の内容である穂先の動きと点画のつながり、書く速さを意識して書くことを身につけやすくなっています。

教育出版では、毛筆の学習でためし書き、まとめ書きにより、硬筆、毛筆、硬筆の流れがつくられ、児童にとって毛筆と日常の筆記の関連を感じやすい構成になっています。

光村図書では、書写の約束について丁寧に示されています。これによって、初めて書写の学習に取り組む1年生にとって、学習前の準備がしっかりとでき、スムーズに学習に取り組めるようになる工夫がされています。

他の特徴につきましては、資料にございますので、ご覧いただきたいと思っております。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

書写については3社でございます。

それでは、ご意見を求めたいと思っております。よろしく申し上げます。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私、3社見させてもらって、どこも遜色はなかったなと感じました。光村図書は簡潔にまとめられていて見やすいなと思いましたし、1年

生の点遊びというところがあるんです。点遊び、いろいろな線を書こうというところがあるんですけども、そこも書写の苦手な子も見やすく、次どうすればいいかの指示があり、書きやすいなと思いました。6年生の文字の配列について、上下のバランスについて、猫のイラストがあって、真ん中の猫の頭が少し飛び出ているんですね。それでバランスや形の取り方が分かりやすく説明されているなと思ってよかったと思います。

もう一社、教出なんですけど、書道の穂先の通りというのが一番見やすかったなと思いました。朱墨がきれいに使われているのも、これもいいかなと私は思いました。

東京書籍のほうは内容も充実していて、それもいいなと思いました。

以上です。

教育委員（河合洋次）

私は東京書籍がよかったなと。詳しく書いてあるので、何を学ぶか分かりやすいですし、知りたいという気持ちに込んでいる感じがしました。あと、シンプルなのはいいと思うんですけど、6年生を見るとちょっと物足りなく感じるんじゃないかなと思うので、詳しく書いてある東京書籍のほうがいいかなと思います。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私も東京書籍がいいなと思いました。右利き、左利きについて、全社ともに扱われてはいるんですけど、東書が一番見やすかったです。今回、水書が全て教科書ついているんですけど、学習指導要領の書写で、知識及び技能において、低学年の運筆の能力向上について指導工夫というのがあったと思うんですが、この水書というのはそういう学習指導要領で力点を置いていると

ころとの関連としてどんな利点があるのか、少し教えていただけたらというふうに思います。

教育長（竹谷好弘）

これは選定委員会のほうで。

お願いします。

選定委員長（酒匂雅夫）

水書の指導によって、低学年からとめやはらいを何回も意識して練習できるのは非常に効果があります。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

なるほど。

ほかの視点で何か。

教育長職務代理人（山田順久）

子どもたちが学ぶに当たって、国語の教科書と連動していると活用しやすいと思うんですけど、書写の時間数って何時間あるのか再確認しときたいんですけど。

教育長（竹谷好弘）

お願いします。

選定委員長（酒匂雅夫）

毛筆を使用する書写の指導は3年生以上で行い、年間30時間程度とすることになっております。

教育長職務代理人（山田順久）

ありがとうございます。

先ほど国語は東書に決まったと思うんですけども、国語と関連づけて扱っていくことがいいのではないかなというふうに思っています。子どもたちが課題解決に向けて考える力、また書いて伝え合う力を育成するように工夫されていますし、私は東書がいいなというふうに思いました。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

それぞれご意見が出たようでございますが、ご意見を伺っておりますと、東京書籍を推す委

員が全員のものであったというふうに認識しておりますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

では、書写は東京書籍を採択することに決定したいと思います。

続きまして、社会科の採択に移ります。しばらくお待ちください。

よろしくをお願いします。

選定委員長(酒匂雅夫)

では、社会科について報告いたします。

社会科では、学習指導要領に示された社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指しています。このことを踏まえ、各社ともに主体的・対話的で深い学びにつながる活動を各題材の中で工夫して示しており、学びを生活に生かすための実践例を多く掲載し、動画コンテンツやワークシートも充実しています。

選定項目に沿った各社の特徴は、お配りした資料にあります。例えば東京書籍では、全ての児童が学びやすいように、学習段階が「つかむ」「調べる」「まとめる」「生かす」の4つに分けられており、大きな見通しを持って授業に臨むことができる点が特筆すべき点です。

教育出版では、社会科で使う見方・考え方の視点や、他教科との関わりである教科横断的な視点を生かせるように工夫されています。

日本文教出版では、学習内容についての情報や資料、問題解決的な学習の過程が見開きページに分かりやすくまとめられていました。

最後に、補充・発展についての工夫ですが、日本文教出版がSDGsのような現代的な諸課題に取り組む姿勢を重視しており、巻末にあるSDGsシールを貼るという活動ができるよう

なっています。

以上です。

教育長(竹谷好弘)

それでは、社会科については3社でございませぬ。意見を求めたいと思います。

山田委員。

教育長職務代理人(山田順久)

教科書を見せていただきまして、中学校の教科書とほとんど変わらないぐらい詳しく載っていて、3社ともとても工夫されているというふうに感じました。

その中でも、私は日本文教出版がいいかなと思いました。6年生の歴史の行基の説明の中に狭山池という表記があるところがいいなというふうに思いました。また、2次元コードも見させていただきましたけれども、興味を引きやすい工夫がされていました。動画もよくて、子どもたちの多様な学びに結びつけられるようになっているなというふうに感じています。

教育長(竹谷好弘)

ほかに。

田川委員。

教育委員(田川宜子)

私も日文がいいなと思って見させてもらいました。先ほど山田教育長職務代理がおっしゃっていたように、行基のことなんですけれども、こういうのを少し身近に狭山池で行基というふうに取り上げられておって、ちょっとのことで学習のほうに興味に向くというので社会科が好きになるということもあるから、これはいいかなと思って、私は日文がいいなと思いました。

教育長(竹谷好弘)

ほかに。

教育委員(河合洋次)

私も日本文教出版がいいと思いました。選定委員長の説明にありましたけれども、現代的な諸課題に取り組む姿勢を重視しているところと

か、あと、巻末にあるSDGsシールを貼ると
いう活動ができるようになってるのが楽しい
かなと思いました。SDGsを社会科で学べる
というのがいいかなと思います。

教育長（竹谷好弘）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私も日文です。問題解決的な学習がすごく分
かりやすく記されているのと、あと社会科の学
習の進め方というページが各学年全てあって、
これもいいなというふうに思っています。既に
委員の中のご発言にもございましたように、豊
富な2次元コードというのもいいなと思って、
子どもたちがそれぞれの興味や関心に応じて学
びを深めていくことができる教科書が日文では
ないかなというふうに感じております。

教育長（竹谷好弘）

ご意見が出たようでございます。伺っており
ますと、全員が日本文教出版を推していたよう
に思われますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

では、社会科は日本文教出版を採択すること
に決定したいと思います。

続いて、地図の採択に移ります。

お願いいたします。

選定委員長（酒匂雅夫）

では、地図について報告いたします。

地図につきましては、各社ともに学習指導要
領の趣旨が十分に反映されており、自ら進んで
学習に取り組めるよう創意工夫を凝らし、見や
すく分かりやすく活用しやすい地図帳となっ
ております。

選定項目に沿った各社の特徴は、お配りした
資料にあります。例えば東京書籍では、ペー
ジごとに縮尺が理解しやすく掲示されており、
地図上の1センチメートルが実際の何キロメ
ートルに当たるかをページごとに明記されてい

るのがとても分かりやすいと思いました。また、
全102ページ、348グラムとコンパクトになっ
ている点が特徴です。

帝国書院では、地図の中の城や史跡、歴史の
舞台をイラストや青囲みの文字で地図中に示し
ており、歴史学習との連携が考えられています。
また、全132ページ、総重量375グラムで、東京
書籍に比べると、様々な特色のある地図や巻末
の特集が非常に充実している点が、特筆すべき
点です。

最後に、帝国書院のほうには、社会でも話題
になりましたが、日本最古のため池であり国の
史跡にも指定されている狭山池について記載さ
れており、子どもたちにとって魅力的である
と思われま。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

地図については2社でございます。

意見を求めます。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

東京書籍、最初の日本地図の地方ごとの色分
けがとても見やすいと思いました。あと、地図
記号も多い印象です。あと、巻頭の世界地図、
全ての国名が書いていました。たしか帝国書院
のほうは書いていなかった。そういうところは
東京書籍がよかったと思います。ただ、帝国書
院にはやっぱり狭山池の表記があるので、これ
が子どもにとっては大きいと思うので、私は帝
国書院を推します。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私も帝国書院です。最初のところに「地図の
世界へようこそ」というのがあって、そこがす
ごくなじみよいなというふうな感じがしました。

とても見やすいかなと思っています。そして、狭山池があるのかなのとは全然違うなというふうに思っています。前回の採択でも狭山池のことは話題になっておりますけれども、やっぱり本市の児童にとって郷土の大切な財産だし、日本最古の人工池として国の史跡に指定されていますので、狭山池の表記があることが私は望ましいと考えます。

教育長（竹谷好弘）

山田委員。

教育長職務代理人（山田順久）

私も帝国書院がいいなと思いました。子どもたちが理解するのがなかなか難しい地図の概念、方位などを学びやすい工夫がされているというふうに思います。また、資料も充実してまして、データの資料は社会科を学ぶ子どもたちにとってとても魅力的な資料だなというふうに思っています。

教育委員（田川宜子）

私も、狭山池という表記があるので帝国書院がいいなと思いました。やっぱり知っている場所が載っていると親しみやすく、興味を持って調べたりするのに教科書も使いやすいかなと思います。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

帝国書院を推す委員が全員であったようでございますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、地図は帝国書院を採択することに決定したいと思います。

では、続いて算数の採択に移ります。

選定委員長（酒匂雅夫）

算数では、学習指導要領に示された数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力の基礎を育成することを目指しています。このことを踏まえ、各社

ともに主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容になっています。また、1人1台端末を有効に活用する工夫がなされています。国際理解や障害者理解、SDGsなどを題材にした問題も取り扱われており、他教科との関連づけについても配慮されています。

選定項目に沿った各社の特徴は、お配りした資料にあります。例えば東京書籍では「今日の深い学び」で活用する場面を具体的に示しています。

大日本図書では、「算数たまたまこ」で身の回りの事象と算数を結びつける活動を示しています。

学校図書では、プログラミング学習の取扱いとして「プログラミングのプ」を設けて、6年生で「ハノイのとう」のパズルを解く活動を取り扱う等の工夫があります。

教育出版では、プログラミング学習の取扱いとしては、「プログラミングにちょう戦」を設けて、5年生で正三角形を書く活動を取り扱っている点が特筆すべき点です。

啓林館では、「見方・考え方を深めよう」で、身の回りの事象と算数を結びつける活動を示しています。

日本文教出版では、「レッツプログラミング」を設けて、6年生で机を使ったデザインを考える活動を取り扱っている点が特徴的でした。

最後に、デジタルコンテンツの工夫ですが、東京書籍では、練習問題に取り組むことができ、自動で採点の機能もついています。また、1回目以降で正解であった場合は丸を赤で示し、2回目以降で正解であった場合は色を変えるなどの工夫が見られました。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

それでは、報告がございました。算数については6社でございます。意見を求めます。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

学校図書は基礎的な問題が多いという印象を持ちました。逆に、東京書籍は発展的な問題と
いうか考えさせる問題、結構難しい問題が多い
という印象を私は思っています。私は基礎ばかり
じゃない発展的なことにもチャレンジしたほう
がいいとは考えているんですけども、東京
書籍がいいなと思ったんですが、現行、東書だ
ったと思うんですけど、調査員の意見はどうで
したか。

選定委員長（酒匂雅夫）

特に難しい等の意見は出ていないです。基本
的な問題から発展的な問題という形になってい
るので、学習の流れを定着させやすいという意
見がありました。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私も東京書籍がいいなというふうに思いなが
ら拝見させていただきました。各社ともに練習
問題には回答がついているので、自分で問題を
解いて確認できるようになっているんですけれ
ども、東京書籍のデジタルコンテンツが自動採
点になっていて、何度でもやっぱり反復して学
習できるので、基礎的な力の定着にはつながる
と思いました。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私は東書か日文がいいなと思いました。東書
のほうはやはり先ほどから出ていますけれど
デジタルコンテンツがとても充実していて、日
本文教出版のほうは次の学習のためにという
ことで、一つ前の学年で学習したことを復習させ

るような形にもなっているんです。これも大切
なことだと思います。あと、ノートのつくり方
も載っているのもよくて、参考になりました。

教育長（竹谷好弘）

山田委員。

教育長職務代理人（山田順久）

学習の流れとしては、整数から小数、そして
分数のほう抵抗が少ないかなというふうに思
っています。冒頭でも説明ありましたが、東
京書籍の自動採点で基礎的な部分を押さえて、
発展的な問題でより伸ばしていくという流れが
とてもいいなというふうに思いました。

教育長（竹谷好弘）

ご意見が出たようでございます。伺っており
ますと、東書を推すご意見が多かったというふ
うに思いますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

では、算数の教科書は東京書籍を採択するこ
とに決定いたします。

続いて、理科の選定に移ります。

お願いします。

選定委員長（酒匂雅夫）

それでは、理科について報告いたします。

学習指導要領では、自然に親しみ、理科の見
方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実
験を行うことなどを通して、自然の事物・現象
についての問題を科学的に解決するために必要
な資質・能力を育成することを目指しています。

このことを踏まえ、各社ともに発達段階に
応じた教材が創意工夫されて配列されており、
動画コンテンツも充実されております。

選定項目に沿った各社の特徴は、お配りした
資料にあります。例えば東京書籍では、全て
の単元の導入に課題をつかむための活動を設定
し、簡易的な体験や写真資料を使って興味・関
心を高め、疑問を引き出す工夫がされています。

大日本図書では、コラムで学習内容が社会に

生かされていることを紹介したり、理科を学ぶ意義を捉えられるようにしたりするなど、学習意欲を高める工夫がされております。

また、学校図書では、学習におけるいろいろな見方・考え方を9体のモンスターで表すことで、児童が楽しみながら見方・考え方を身につけられるよう工夫がありました。

教育出版では、「〇年のチカラ」というマークをつけて、各学年で主に育成したい問題解決の力を子どもに意識させるように工夫していました。

最後に、啓林館では、単元末のまとめノートにおいて、単元の学習の要点を振り返って整理でき、2次元コードを読み取ることで、フラッシュカード形式の補充問題に取り組めるよう工夫されているなどの特徴が見られました。

他の特徴につきましては、資料でございますので、ご覧いただきたいと思っております。

教育長（竹谷好弘）

ただいまご報告がございました。理科については5社でございます。

それでは、委員からの意見を受けたいと思っております。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

5社見せてもらって、安全に観察とか実験を行うという点では教育出版がいいなと思えました。教科書の裏面に、全ての学年なんですけど、理科の安全の手引きというのがあるんです。児童が教科書を閉じた状態でも手引きを確認することができて、一目で見て分かるというのがいいなと。これはいいなと思えました。

あとまたノートづくりや自学自習という点では東京書籍もいいと思えました。私の研究というところがあるんですけど、そこで調べ方やまとめ方が記載されているんです。このページを見るだけで、とてもみんなが悩む夏休みの

自由研究などの調べ方やまとめ方、そういうのが自学自習に取り組むことができるかなと思っております。

あと、東京書籍のほうなんですけど野菜の花がダイナミックに掲載されていたりとか、人体図を大きく取り扱っていたりするところもいいなと思えました。紙面がやっぱり大きくて見やすいなというのが印象に残りました。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

私は啓林館がいいと思えました。啓林館はまず教科書の大きさが小さいのもいいと思います。現在、学校だとタブレット端末を用いて学習することが増えていると思えますけれども、特に理科ではタブレット端末と教科書を同時に置いて観察や実験を行うことがあるので、限られた机のスペースで小さいほうが取り扱いやすいと思います。

あと、啓林館は小さくても6年生の124ページとかダイナミックな写真を用いているので、これは子どもたちにとって分かりやすいと思えました。あと、デジタルコンテンツも大変充実していた印象です。まとめ動画があるので、復習に活用することができると思えます。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私も啓林館がいいなと思っています。特に5年生の94ページの赤ちゃんのイラストが、実はこれ生まれる頃の実際の大きさということで、実物大なんです。何かすごく子どもたちにとってこんな小さかったときがあるというのも実

感を伴って学べるような、そういう構成になっているのではないかなというふうに思いました。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

山田委員。

教育長職務代理人（山田順久）

私も啓林館がいいなと思っています。学習の流れが分かりやすく、子どもたちが理科の見方・考え方を働かせるための見方・考え方マーカーというのが引いてありますので、教員が指導する上でも分かりやすいんじゃないかというふうに思っています。

教育長（竹谷好弘）

意見が出たようでございます。伺っておりますと、啓林館を推す委員が多かったようでございますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、理科の教科書については啓林館を採択することに決定いたします。

続いて、生活の教科書の採択に移ります。

お願いします。

選定委員長（酒匂雅夫）

では、生活について報告いたします。

学習指導要領に示された具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し、生活を豊かにしていくための資質・能力を育成することを目指しています。

このことを踏まえ、各社とも、自分自身と身近な人々、社会及び自然との関わりを大切にしながら学べるように工夫されており、幼児期の学びや3年生以上の学習とのスムーズな接続にも配慮されています。

選定項目に沿った各社の特徴は、お配りした資料にあります。例えば東京書籍では、地域との連携・協働する場面を提示しています。

大日本図書は、気持ちマークを教科書に書き込むことで、自分自身の振り返りをすることが

できます。

学校図書では、「ものしりずかん」や「ものしりノート」で遊び方や工作などの例がたくさん紹介されています。2次元コードでも読み取れるので、楽しむ手だてがあります。

教育出版は、わくわくスイッチという単元を設け、期待感が広がるような工夫がされています。

光村図書は、のびのび自分らしく学べる工夫として、イラストが効果的に使われています。

啓林館は、学研とのコラボで、自然や生き物の生き生きとした写真を掲載しているのが目を引きまます。また、充実した活動や体験を通して、児童の伝えたいという意欲を育て、体験活動と表現活動が繰り返されることで、児童の気づきの質が高まるように工夫されています。

他の特徴につきましては、資料にございますので、ご覧いただきたいと思います。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ただいまご報告がございました。生活については6社でございます。意見をお願いいたします。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

今回の改訂で生活科の教科書に、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の10項目が本当に全部強調してきています。幼児期の終わりまでに育ってほしい姿って、就学前の現場では10の姿というふうに呼んでいるんですけども、各社その扱いにかなり濃淡があるというふうに感じています。ちょうど令和4年に文科省から出された幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引きの中でも、この10の姿は到達目標として扱われるというのは問題だろうというふうなことが指摘されています。でも、教科書の中で、保護者に対して10の姿を生かしてスタートカリ

キュラムが実施されますというふうなメッセージを送れば、保護者とか小学校の先生の中には、10の姿が幼児期の到達点なんだというふうに思い込んでしまう人が出てくるのではないかなと心配です。その意味では、この扱いはとても慎重であってほしいと思いますので、光村図書とか啓林館は10の姿が比較的緩やかな扱だったなというふうに感じました。特に啓林館は、最初のところなんかは就学前の保育所、幼稚園、こども園で経験した保育内容と小学校教育とのつながりをとても意識して編集されているので、啓林館がいいなというふうな感じで拝見させていただきました。

長くなりました。以上です。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私ちょっと植物の栽培のほうに注目して見させていただきました。教出なんですけれども、いろんな植物を載せているところがよかったなと思います。特にトマトの芽かきというのを載せていて、芽かきってとても大切なので、それが載っているのがとてもいいなと思いました。

光村のほうはアサガオに絞っていたかなと思います。

大日本図書なんですけど、モノクロのページがありまして、そこは子どもにイメージさせるのにはとてもいいページだなと感じました。

東書はやっぱりいろんな植物が載っていたり、実際に高齢者の方と遊んでいるシーンというのが載っているんです。そういうのもイメージができたりするページがあって、東書もいいなと思いました。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ほか。

教育委員（田川宜子）

すみません、もうちょっといいですか。学図のほうはシンプルだなと感じました。

あと、啓林館なんですけど、啓林館はドングリの写真を載せているんですね。ドングリだけじゃなくて、そこに虫も一緒に写真が載っているんです。本当に虫が載っているというのは重要で、これすごく大変なことになるんです。後で。そういうときに先生のほうが、まずは冷凍庫で冷やしたらいいよとか、凍らせたらいいよとか、そういうふうに、どうやって対処したらいいかというのを導入できるのもいいかなと思って見させてもらいました。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

私は啓林館がいいかなと思いました。啓林館は何といっても写真がすごくきれいだったと思います。あと、生活科の重要性を分かりやすく示しているところもよかったです。巻末のステップブックですね。これは就学前からの振り返りといって、3年生の学習に丁寧につないでいるという印象があります。

以上です。

教育長職務代理者（山田順久）

私も啓林館がいいのではないかなと思っています。学研とのコラボ図鑑というのがあるんですけれども、子どもの興味関心を引きやすいというふうに思いました。また、先ほど意見にもありましたけれども、幼児期から生活科、また3年生以降に丁寧につないでいるということがとても大切なことだと思っています。

教育長（竹谷好弘）

ご意見が出たようでございます。伺っておりますと、啓林館を推す委員が多かったように思

いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

では、生活科は啓林館を採択することに決定したいと思います。

続いて、音楽の採択に入ります。

お願いします。

選定委員長(酒匂雅夫)

では、音楽について報告いたします。

各社とも、学習指導要領に示された音楽科の目標である表現及び鑑賞の活動を通して音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指し、発達の段階を踏まえて目標が達成できるよう、教材を充実させています。

選定項目に沿った各社の特徴は、お配りした資料にあります。例えば、教育出版では、学習マップで学びの目標が示されています。ページの右上には、楽曲ごと、「音楽のもと」として、その音楽を形づくっている要素を示しています。また、全学年に2次元コードがあり、学習に必要な情報を見ることができます。

教育芸術社では学習マップがあり、「歌う」「演奏する」「聴く」「つくる」の4観点で表示されています。ワークシートで学びの内容を分かりやすく示したり、楽曲ごとにページの右上に2次元コードがあるなどの特徴が見られました。

他の観点の特徴につきましては、資料にありますので、ご覧いただきたいと思います。

以上です。

教育長(竹谷好弘)

それでは、音楽については2社でございます。意見をお願いいたします。

河合委員。

教育委員(河合洋次)

私は教出がいいなと思います。どちらの教科書もユニバーサルデザインを意識して見やすく

分かりやすい教科書だと感じました。ただ、教出のほうが写真やイラストが親しみやすく見やすいと思いました。あと、ストリートピアノとか、最近のはやりを入れて音楽を楽しむということを意識しているように思います。

教育長(竹谷好弘)

ほかに。

山田委員。

教育長職務代理者(山田順久)

私も教出がいいなと思いました。見やすいですし、音楽の苦手な子どもたちにとっても何か想像しやすいイラストや写真が掲載されています。また、全学年で手話を扱っていて、多様な表現方法を意識しているなというふうに感じました。

教育長(竹谷好弘)

井上委員。

教育委員(井上寿美)

私も教出がいいなと思っています。鍵盤ハーモニカの写真があるんですけども、教出のほうが実物大の写真が掲載されていて、例えば授業の中で先生の声に合わせて手を動かして、実際音は出さないで指の運びを練習するというふうなときにはとても使いやすいなというふうに思いました。それだけじゃなくて、目当ての中で大切なキーワードを目立たせるように色を変えているというのも工夫がなされているなというふうに思っております。

教育長(竹谷好弘)

田川委員。

教育委員(田川宜子)

私も教出がいいなと思って見ました。シの音だけで演奏したりとか、あと循環コードを基に即興的に楽しんだりする内容も含まれているのもいいなと思って、イラストも写真もどこか柔らかいイメージで優しい印象を受けました。実際の風景写真もとてもリアルで、例えば6年生なんですけれども、「朧月夜」という曲に掲載

されている写真の空の色なんですけど、この歌で表したかった風景のように感じる、特にきれいな風景だなと思いました。こういうのは子どもたちの想像力をかきたてるのにとってもいいのではないかなと思います。どんな風景なのかというのを想像しながら聞いたりとか歌ったりしてほしいなとこの教科書を見て思いました。特に1年生なんですけど、1年生は幼稚園、保育園、こども園から上がってきて、初めて音楽という授業があるんですけど、それでもなじみのある曲が集まっているので使いやすいかなと思いました。

教芸のほうは専門的な分野をかなり多く扱っているなという印象を受けました。

教育長（竹谷好弘）

ほかにございませんでしょうか。

ご意見が出たようでございます。伺っておりますと、教出を推すのが全員のようであったと思いますが、よろしいですか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、音楽は教育出版を採択することに決定したいと思います。

続いて、図画工作の教科書の採択に移ります。選定委員長（酒匂雅夫）

では、図画工作について報告いたします。

学習指導要領では、表現及び鑑賞の活動を通して造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することを目指しています。

このことを踏まえ、各社とも、発達の段階に応じた身近材料を題材に取り上げ、児童が造形的な視点について理解し、創造的につくったり表したりすることができるよう工夫されております。また、巻末に用具の使い方を詳しく示しており、児童の安全面についても配慮されています。

選定項目に沿った各社の特徴は、お配りした

資料にございますが、例えば開隆堂では、動いてクレイアニメーションで、2次元コードを読み取ることで、題材制作の手順やポイントなどの動画を見ることができるようになっています。

また、日本文教出版では、2次元コードを読み取ることで、1,300を超える過去の作品を見ることができ、活動に生かすことができます。

他の特徴につきましては、資料にございますので、ご覧いただきたいと思っております。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

それでは、図画工作については2社でございます。ご意見をお願いいたします。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私は日文の教科書でマスクをつけた子どもたちがたくさん登場しているのがちょっと気になったんです。図画工作ってやっぱり子どもたちの生き生きした表情を見たいなというふうに思いますので、このマスクについて調査員の先生方はどんなふうなお話をされていたのか、ちょっと教えていただけたらと思います。

教育長（竹谷好弘）

お願いします。

選定委員長（酒匂雅夫）

特に気になっていなかったんですが、マスクをした子どもたちが多いのは、子どもの学びのプロセスを伝えるため、実際の授業中を取材したり撮影したりしたのですね。背表紙に説明が載っておりました。

以上です。

教育委員（井上寿美）

分かりました。この背表紙を見落としていたようです。とても安心しました。恐らく、マスクの子どもたちを見て、こんな時代もあったんだなというふうに振り返るときが来たらいいなと思います。

中身の観点ですけれども、日文はやっぱり写真の出し方がとてもきれいなんですね。美しい写真や絵がたくさんあって魅力的だなというふうに思いました。見開きも日文のほうが大きくて見やすいページだったかなというふうに感じております。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

山田委員。

教育長職務代理人（山田順久）

私は2社とも3つの資質・能力に題材を適切に配されてまして、児童がバランスよく学習できるようになっていると思えました。

そこで、鑑賞についてなんですけれども、鑑賞の活動は、鑑賞の教材だけではなくて、絵とか立体、工作、造形遊びなどのどの教材でもお互いの作品や造形物を見て自分の作品に生かしていくものだと思いますけれども、そのあたりはいかがでしょうか。ちょっとお聞きしたいです。

選定委員長（酒匂雅夫）

現場ではやはり鑑賞という活動を通して多種多様な作品や手法と出会って豊かな感性を育むことが大切だと考えております。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

教育委員（河合洋次）

鑑賞活動ですけど、開隆堂のほうは巻頭の目次には鑑賞の活動が表記されていないんですけど、題材ごとに振り返りシート、鑑賞カード、2次元コードに読み取ることで活動に取り組むことができます。あと、日文は、どの教材にも鑑賞の項目が表記されているので、児童や教員も鑑賞することに意識を向けやすいことになっています。資料にもありますけれども、日文の

2次元コードで1,300以上の作品を見れるというのはすごいことだと思います。学級の人数が少ない学校も今ありますので、そういった学校でもいろんな作品を鑑賞できるのでいいんじゃないかなと思います。そういった点から私は日文がいいかなと思っています。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

造形遊びの学習活動なんですけど、想像したことを描く、使うものをつくるとか、主題や内容をあらかじめ決めるのではなくて、児童が材料や場所、空間などと出会い、て自分で目的を見つけて発展させていくものだと思いますんですけど、開隆堂のほうは具体的なものの名前、段ボールのところなんですけど、船の外側にとか、実際にあるものの形を掲載していて、段ボールを接着する際に、どこにとか、あと物とかが使うこと、成形しやすいような内容になっているんです。日文のほうは、段ボールそのものを差し込むという技能を使って広げて、あとは子どもたちの考えた接着の仕方だとか表現の仕方だとかに引っかけて考えられるようになっています。どちらにもいい点はあるんですけども、接着する材料などを提示しないほうが、成形する過程において児童の思考の広がりが期待されるんじゃないかなと思って見ました。そういった意味で、私も日文のほうがいいなと思えました。

教育長（竹谷好弘）

山田委員。

教育長職務代理人（山田順久）

私も日文がいいなと思います。デジタルコンテンツで、日文は活動を通して自分を認め、他者を認め、多様な考え方を尊重する題材というのがたくさん掲載されています。豊富な2次元

コードで子どもたち一人一人の学びに役立つのではないかなというふうに思います。

教育長（竹谷好弘）

ほかに、ご意見出たようでございます。全体的に日文を推すご意見が多かったようございますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、図画工作の教科書は日本文教出版を採択することに決定いたします。

続いて、家庭科の教科書の採択に移ります。

お願いします。

選定委員長（酒匂雅夫）

では、家庭科について報告いたします。

家庭科では、学習指導要領に示された生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成することを目指しています。

このことを踏まえ、各社ともに主体的・対話的で深い学びにつながる活動を各題材の中で工夫して示しており、学びを生活に生かすための実践例を多く掲載し、動画コンテンツやワークシートも充実しています。また、人権の取扱いについても、子どもから高齢者まで様々な世代の人が描かれ、共生の視点に配慮されています。また、用具をよく使う家庭科において、ユニバーサルデザインの考え方に基いた文字や写真や動画コンテンツが示されています。

選定項目に沿った各社の特徴は、お配りした資料にあります。例えば東京書籍では、最初に「家庭科の窓」を設置することや、思考ツールを用いることで主体的・対話的で深い学びを協働的に課題解決しようという点が特筆すべき点です。また、動画コンテンツでは字幕対応がされていたり、ワークシートもダウンロードせずとも書き込みをしたり保存ができるようになっています。

一方、開隆堂の特筆すべき点は、児童が自ら家庭科を学ぶことで成長が実感できるような工夫が見られることです。学習手順図は、児童の視点の流れを考慮していたり、写真や図で分かりやすく示されていたりします。そして、2次元コードによる300を超えるコンテンツからは、調理や制作の実習に興味を持って意欲的に取り組めるよう配慮されています。

最後に、実習や制作における安全面についての工夫ですが、開隆堂のほうが、実習のページに合わせ、その都度、安全マークが目立ち、動画によってきめ細かく詳しい説明がされています。

他の観点の特徴につきましては、資料にありますので、ご覧いただきたいと思います。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

家庭科については2社でございます。ご意見を願います。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私、調理実習のページを中心に見比べをさせていただきました。開隆堂のほうが、工程が事細かに載っているんですね。調理途中のこの作業の部分が知りたいというのがよくあるんですけども、そのよく知りたいというのが載っていて、大人になっても生活に役立つように思います。また、理科に通じるところもあって、16ページの簡単な根っこ、茎、葉っぱという図があるんです。調理実習のところに。そこに、ふだん食材のどの部分を食べているのかというのがよく分かるように関連づけられているのがあります。スーパーなんかだと今手軽にカット野菜なんか売っているの、それを見慣れてしまっている子もいると思うんですけども、そのものの姿とカット野菜と、そういう売っているものとの違いというのも適切に分かるとこ

ろがいいなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

大阪狭山市は給食やアレルギー対応に力を入れていますので、食物アレルギーのことをしっかりと明記されている開隆堂が私はいいいと思います。

教育長（竹谷好弘）

山田委員。

教育長職務代理人（山田順久）

私も開隆堂です。最初の見出しにある「生活を支えるということ」、なぜ1年から4年生までは家庭科を学習しないのかという理由。ここを問いかける授業からぜひ始めてほしいというふうに思っています。子どもたちの発達の段階とリンクしている点、また防災の取扱いがある点もいいいと思いますし、活字も見やすく構成もいいいなというふうに思っています。

教育長（竹谷好弘）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私は、家族がどのような扱いになっているのかというのがとても気になりまして、そこに注目して拝見いたしました。家族の団らんが前提となっているような扱いになると、様々な事情で家族との関係がうまくいっていない子どもたちがすごくつらい思いをするだろうなというふうに思います。そんなことを考えると、家族の扱いは多様性に配慮して慎重でなければならないと思いますので、その点では開隆堂がいいいなというふうに思っております。

ただ、東書は幼稚園とのオンライン交流の写真などが取り扱われていて、コロナ禍での取組が早速反映されていて、ここはすごいなと思いつつも、開隆堂さんのほうはデンマークのか

やぶき屋根とか世界のホットタイムというふうなところで、日本以外の国のことにも触れられていたので、総合的に見たら開隆堂がいいいなというふうに思っています。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ご意見が出たようです。全体的に開隆堂を推す委員の方々が多かったように思いますので、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、家庭科は開隆堂を採決することに決定したいと思います。

引き続いて、保健の教科書採択に移ります。

お願いします。

選定委員長（酒匂雅夫）

では、保健について報告いたします。

学習指導要領では、体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指しております。

このような観点を踏まえて、各社とも、子どもたちの発達の段階に配慮した指導内容の工夫や体系化を図っています。

選定項目に沿った各社の特徴は、お配りした資料にあります。例えば東京書籍では、各単元のまとめのページには、学習したことの要点を穴埋め式で書き込むことができ、しっかりと復習しながらまとめができるようになっています。

大日本図書では、今ではあまり見かけなくなった公衆電話の使い方が示されていたり、児童にとって大切なプライベートゾーンについて触れられていたり、実生活に大切な学びを深めることができるように工夫されています。

大修館では、3、4年生の一番初めに、なぜ

保健を学ぶのかを分かりやすく関心を持たせるために、漫画で描かれています。

文教社では、教科書の中にたくさんの資料が掲載されていますが、その資料に示されている数字が、およその数ではなく具体的な数字が示されており、児童にとって自分事として捉えやすい内容になっています。

光文書院では、3、4年生の体の発育と健康という単元で、ついている2次元コードを読み取り、身長と体重を入力するとグラフが開かれるようになっていて、自分の成長が実感できる工夫がされています。

学研では、各単元の初めに、その単元で学習する内容と関連が深い仕事を紹介されており、キャリア教育ともつながる工夫がされている等の特徴が見られました。

他の特徴につきましては、資料にございますので、ご覧いただきたいと思います。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ただいまご報告がございました。保健につきましては6社からの選定でございます。ご意見をお願いいたします。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私が光文がいいなと思っているんです。3、4年生の24ページのあたりから思春期の体の変化のことが取り扱われていて、とても内容が丁寧です。特に33ページのところでは性についての悩みというので、性自認で悩んでいる子どもたちへの配慮もあるのかなと思いますと、そこはすごくいいと思っているところです。

新型コロナウイルス感染症についても各社触れられているんですけれども、表現に少しずつの違いがあるなというふうなことは感じながら拝見いたしました。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

私も光文がいいと思います。文章が簡潔で分かりやすく、あとトピックスにも力が入っていました。先ほど井上委員の話にもありましたけれども、新型コロナウイルス感染症で各社表現が違うということで、光文はただの感染症という扱いだけでなくて、差別という観点も入れていました。あと、巻頭で著名人のメッセージなんかで保健を学ぶ大切さを伝えているのも、子どもの学習への期待感を持ってそうだと思います。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

見やすさで言わせてもらおうと、東書が単元ごとにまとめられていて見やすい印象を受けました。3、4年生をピックアップして、体の発育と健康という観点でピックアップして見させてもらったんですけれども、文光のほうに赤ちゃんの手足の写真が実物大で載っているんです。これって自分と重ねて比べるということで、成長を感じられるようになっているところがとてもいいと思います。自分の成長の振り返りって、成長していく中ですごく大事だと思うので、光文がいいなという印象を受けました。

教育長（竹谷好弘）

山田委員。

教育長職務代理人（山田順久）

私も光文がいいと思います。体の成長だけではなくて、子どもたちにとってとても大切な心の成長にしっかりと触れられている。また、学んだことを自分事として捉えて実生活に結びつけて考えられているという構成になっているな

というふうに思いました。

教育長（竹谷好弘）

ご意見が出たようでございます。全体的に光文書院を推す委員が全員の様です。よろしいですか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、保健は光文書院を採択することに決定いたします。

続いて、英語の採択に移ります。

お願いいたします。

選定委員長（酒匂雅夫）

では、英語について報告いたします。

英語では、学習指導要領に示された外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することを目指しています。

このことを踏まえると、各社ともに主体的・対話的で深い学びにつながる活動が示されていて、SDGsや他教科との関連づけで発展した学習ができるように配列されています。そして、いずれも、目的、場面、状況に応じて、学習した表現を使ってコミュニケーション活動を行う内容は充実しております。また、全社、別冊の絵辞書があり、多くの言葉に触れる機会が設定されております。

続きまして、学び方の工夫の観点において差異がありますので、その中でも特筆すべき点について、各社ご説明いたします。また、英語の教科書におきましては、大阪狭山市全小中学校におけるデジタル教科書の活用がありますので、その違いについてお伝えします。

東京書籍では、思考ツールを選択して、ワークシートを作成する機能などが備えられています。他の教科でもよく使う思考ツールは、学習を促すことができます。

開隆堂では、文字の読み上げ時のハイライト機能が備えられています。英単語のどれを読み上げているのかが分かりやすく表示されています。

三省堂は、単語ゲームの機能などが備えられています。子どもたちが自分のペースで単語を学習できます。

教育出版は、どこの社にもある音声の再生速度を調整できる機能は同様にあるほか、自分の発音を確認できる録音再生機能などが備えられています。

光村は、チャンツへのハイライト機能が備えられています。次に発音する言葉が一目瞭然となり、チャンツに取り組みやすい機能となっています。

啓林館は、暗記したい語彙を隠す機能などが備えられています。自分の学びたい言葉を自分で選択し、調整することができます。

最後に、大阪狭山市では、これまで大阪府で作成されたDVD教材DREAMの活用や、3、4年生では、歌や動きのある外国語活動を大切にしています。そこに欠かせない6社のチャンツのコンテンツ量を見比べてみますと、順番に、5、6年の合計で、東書16、開隆堂16、三省堂45、教出24、光村92、啓林館35となっております。

他の特徴につきましては、資料にございますので、ご覧いただきたいと思います。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ありがとうございます。英語につきましては6社でございます。ご意見を求めます。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

チャンツの量は光村が圧倒的なんです。全ユニットにストーリーアニメも用意されていて視野が広がるので、私は光村を推します。

教育長（竹谷好弘）

山田委員。

教育長職務代理人（山田順久）

光村が一番シンプルで、子どもたちにとっても構成が分かりやすいというふうに思いました。2次元コードの動画も分かりやすいし、音声調整などもいいと思います。どの会社も様々な工夫がされていますけれども、シンプルに学べる光村がいいなというふうに思います。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

光村は重点化した領域をユニットごとに設定していて分かりやすかったと思います。指導評価も一体化しやすいと思いました。私もやっぱり光村だと思います。

教育長（竹谷好弘）

田川委員。

教育委員（田川宜子）

6社見させてもらって、私が一番見やすく感じたのは光村でした。それぞれの2次元コンテンツも聞き比べさせてもらったんですけど、光村の音声が一番クリアで、音というかゆとりがあり、聞こえやすさというのを感じました。アニメーションもよかったかなと思います。

教育長（竹谷好弘）

ご意見が出たようでございます。全員が光村を推されていたようでございます。よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、英語は光村を採択することに決定いたします。

最後の種目、道徳になります。

お願いします。

選定委員長（酒匂雅夫）

では、道徳について報告いたします。

学習指導要領では、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見詰め、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることを目指しています。

各社とも様々な教材を通して、人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されています。

選定項目に沿った各社の特徴は、お配りした資料にあります。例えば東京書籍では、コラムに保護者向けメッセージがあり、家庭との連携を意識しています。

教育出版では、モラルスキルトレーニング教材や、各教材末には学びチェックがあり、自身で振り返れるようになっています。

光村図書では、低学年で共生を意識づける教材、高学年では、様々な差別問題に触れた教材が掲載されています。

日本文教出版では、1年生からジェンダー理解へとつなげていけるような教材を扱っています。

光文書院では、巻末の「学びの足あと」で、1、2年生は表情マークの書き込みと、一言コメントの振り返りになっていて、発達の段階に応じた工夫があります。

学研では、教材にある「考えよう」「ふかめよう」は、道徳的価値について多面的・多角的に考え、心のパスポートで関連情報を提示しています。

他の特徴につきましては、資料にございますので、ご覧いただきたいと思っております。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ただいまご報告がございました。道徳につい

では6社でございます。それでは、ご意見をお願いいたします。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

いじめの取扱いという点ですが、東書は内容がよく、6年生でいじめ防止対策推進法に触れていました。教出と光村は、教材とコラムのユニット構成になりました。日文は、年3回いじめ防止ユニットを配置していますけど、光文ではいじめの教材前に、いじめを生まない心のページで考えを深め、レジリエンスコラムで心の力を考えられるようにしていました。学研のほうは、いじめ防止マークで関連教材を明示して、最重要テーマの命をユニットとして連続して考える配置となっていて、異なる内容項目の教材を組み合わせていました。トータルで見ると、私は学研がよかったと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私も河合委員と同じで、いじめについては東書の扱いがいいなというふうに思いました。コロナによる人権問題も取り上げられていました。学研のほうはすごく自然な流れだなというふうな印象で、特に赤ちゃんの話ばかりしていますが、1年生の36ページには赤ちゃんの等身大の写真があって、これはとてもいい教材だなというふうに思います。

でも、結論から言うと、光村を推したいです。光村はヨシタケシンスケさんのイラストを使って、何だろう、何だろうというコーナーがありまして、これは価値に対して揺さぶりがある感じが、一つのものに絶対決めなければいけないじゃなくて、みんなで考えようねというところで、いいなというふうに思っていますし、光村の4年生の55ページでは妊婦さんの体験をする

というのがあるんですけども、これはいいなというふうに思っています。全体的に心に響く作品が光村は多いなというふうに感じております。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

山田委員。

教育長職務代理者（山田順久）

私も、今井上委員がおっしゃいましたけれども、光村の教材というのは読んでいて心に残りました。子どもたちの心を揺さぶる身近な教材が多いのではないかなと思いました。それらの教材を通じて子どもたちには自分自身を道徳の時間でしっかりと見詰めてほしいというふうに願っています。

教育長（竹谷好弘）

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私は6社見て、どこの社もいいなと思ったんですけど、学研が一番よかったかなと自分では思いました。道徳で学ぶべき内容というのはちゃんと押さえつつ、話し合いながら児童が様々な角度から道徳的価値について考えることができるんじゃないかなと思いました。いろんなアプローチがあっていいよという、考える道徳というのに、学研がいいんじゃないかなと思いました。

教育長（竹谷好弘）

ほかに何か。

意見が出そろったようでございますけれども、ちょっとご意見が分かれているようでございます。

調査員さんの意見も確認しておきたいと思えます。現行の学研の教科書使用に関しまして、何か現場のほうでのご意見についてちょっと教えていただきたいと思います。

選定委員長（酒匂雅夫）

特に難しいとか使いにくいなどの意見は出ていなかったようです。前回の採択から教材研究が進んでいますので、経験年数の浅い教員でも授業展開がしやすいように、指導案やワークシートなどの蓄積が進んでおって、さらに充実できるのではないかという意見がありました。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

分かりました。とても前向きな意見だというふうに感じました。

では、先ほどのご意見も改めてちょっと集約いたしますと、光村と学研を推す意見があったように思います。ちょうど2名、2名に分かれていたように思いますので、ここは私が加わりまして採決したいというふうに思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、光村と学研で採決をしたいと思えます。

光村がふさわしいとお考えの委員は挙手をお願いいたします。

（賛成者挙手）

2名です。

学研がふさわしいとお考えの委員、お願いいたします。

（賛成者挙手）

では、光村2名、学研3名ということで、では道徳の教科書は学研を採択することに決定いたします。

以上で、13種目の選定が終了いたしました。長時間にわたりありがとうございました。

各種目の採択結果について確認を行いたいと思います。

採択しました教科書につきましては、国語、東京書籍、書写、東京書籍、社会、日本文教出版、地図、帝国書院、算数、東京書籍、理科、

啓林館、生活、啓林館、音楽、教育出版、図画工作、日本文教出版、家庭、開隆堂出版、保健、光文書院、英語、光村図書出版、道徳、学研、以上でございます。よろしいでしょうか。

長時間にわたりありがとうございました。教科書採択に係る議案は以上でございます。

ここで、傍聴に来られた方で退席をされる方は、このタイミングでお願いします。

それでは、続きまして、日程第2、議案第13号、大阪狭山市放課後児童会条例施行規則の一部を改正する規則についてを議題といたします。

担当に説明を求めます。

担当。

放課後子ども支援グループ課長（岩間かおり）

それでは、日程第2、議案第13号、大阪狭山市放課後児童会条例施行規則の一部を改正する規則につきましてご説明申し上げます。

資料は3ページから11ページまでです。

改正の理由でございますが、令和5年5月8日から施行されました新型コロナウイルス感染症の感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律上の位置づけが変更され、新型コロナウイルス感染症は、新型インフルエンザ等感染症に該当しなくなりました。しかしながら、放課後児童会の特性は、保護者が就労等で家に独りであることができない年齢の児童が利用するところにあり、今後も災害や感染症により小学校が臨時休業しても放課後児童会は引き続き開設する見込みがあることから、災害や感染症の拡大などにより教育委員会が利用を控えるよう保護者に協力要請した期間に児童が放課後児童会を利用しなかった場合の特別減免措置について、改めて規定するものです。

あわせて、入会申込みの際に必要な児童のアレルギーや障害の有無、保護者の所得確認等の記載について、所要の改正を行うものです。

次に、改正の概要でございますが、4ページ

をご覧ください。

まず、附則第3項に規定してありました新型コロナウイルス感染症に基づく新型コロナウイルス感染症の拡大防止に基づく特別減免措置規定を削除するものでございます。

次に、別表第2に、災害及び感染症の拡大等により、委員会が指定した期間中、児童会の利用を行わないときは、市長が必要と認める額を減免する規定を新たに設けるものです。

次に、様式第1号には、アレルギーの有無や集団生活をする上で必要な事項など、児童の健康、生活状況等を記載する欄を追加し、様式第5号には、負担金決定に必要な保護者の所得確認の同意や、減免を決定する際に必要な確認事項を追加したものです。

施行期日は、公布の日から施行することとしております。

なお、8ページから11ページまでは新旧対照表となっております。

以上、簡単な説明でございますが、よろしくお願いたします。

教育長（竹谷好弘）

ただいまの説明につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。

ないようでございますので、本案を原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

教育委員（井上寿美）

すみません。5ページだけではないんですが、出身保育園・幼稚園という欄があって、実際書くのはこども園も書く人がいらっしゃるからということで、こども園で入っているんですけど、細かいことなんですけど、これ、出身保育園・幼稚園・こども園と書いておいて、こっちにもこども園が入っているというのが整合性のある話なのかなと思ったので、細かなことですが、ちょっと気になりました。

教育長（竹谷好弘）

これについては、担当、いかがでしょうか。

放課後こども支援グループ課長（岩間かおり）
申し訳ありません。様式第1号の上の分のところですよ。

教育委員（井上寿美）

そうです。

放課後こども支援グループ課長（岩間かおり）
左側は出身保育園・幼稚園になっているという。

教育委員（井上寿美）

はい。結局、こども園も書かれることは想定してちゃんと書いてあるので、左側にもいるのかなというだけのこと。

放課後こども支援グループ課長（岩間かおり）

見出しというところ……

教育委員（井上寿美）

そうです。

放課後こども支援グループ課長（岩間かおり）
分かりました。追加しておきます。

教育長（竹谷好弘）

大丈夫ですか。では、訂正のほうで対応したいというふうに思います。

ほかによろしいでしょうか。

そうしましたら、本案を原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。本案については承認されました。

本日の議案は以上でございます。

これをもちまして、本日の教育委員会定例会議を閉会いたします。

以上

会議の経過を記載し、その相違ないことを証する
ため、署名する。

教育委員会教育長

教育委員会教育委員

教育委員会 委員

教育委員会事務局職員